

2024 年度 第 1 回 学校教育事業委員会
議事録

日 時：2024 年 6 月 18 日（火）
午後 2 時 30 分～4 時 00 分
会 場：神戸 YMCA 三宮会館
オンライン会議

I. 出席者

濱瀬 眞知子、海老 直人、岩野 祐介、上谷 円、栗原 由加、中出 恵子 (以上委員)
西田 勉 (担当理事)
高等学院担当職員 櫻井 英治、川北陽子
専門学校担当職員 横山 徹太郎、鐘 瑋悦、古谷 茉穂、中道 愛子 (担当主事)
(以上職員)

I. 欠席者

岩本 哲人、松本 聡子 (以上委員)

I. 聖書朗読

マタイによる福音書 5 章 9 節 「平和を造る人々は幸いである」
(2024 年神戸 YMCA 年間聖句)

I. 開会祈祷

中道氏により開会祈祷がなされた。

I. 議題

1. 神戸YMCA全体報告

担当理事西田氏より、報告がなされた。

- ・2023 年度は 4 年ぶりに黒字決算となった。コロナが明けて留学生が戻ってきたことも一因である。
- ・日本語教育機関認定法の成立に伴い、認定校になるために、カリキュラムや提出書類等を整える必要がある。
- ・神戸 YMCA 全体の財務状況は、学校に与える影響も大きい。コロナ禍の 3 年連続赤字により、ホテル学科は修学支援制度の対象外となり、学生は給付型奨学金を受けることができなくなった。また、これから日本語学科が認定校の申請をするにあたり、債務超過があれば申請が通らない。

2. 2024 年度各校の状況報告

1) 高等学院

学校状況について、川北氏、櫻井氏より別紙資料に基づき報告がなされた。

- ・生徒募集について、5・6 月に外部の合同相談会に参加し、確度の高い生徒とも接触することができた。
- ・昨年度は基礎力強化のためのクラスを設定したが、受講人数が少なく、内容や設定にも課題が残った。その反省を踏まえ、今年度は授業を通して経験を増やす授業やプログラムを企画している。特別授業では、神戸 YMCA 学院専門学校からも講師を招き講座を開講した。
- ・各学年とも、精神的に不安を抱える生徒がいる。3 年生も、進路に対する不安を抱えている。

以上の報告を受け、以下の質疑応答と意見が述べられた。

質問) 生徒の精神的な不安について、例年とは違う今年の特徴とは何か。

→1年生は、周りからどう見られるかをとても気にしている。学習面においては、自分の答えが合っているかどうか不安。苦手意識がある。できることを増やし、少しずつ自信をつけていってほしい。

意見) 自分に自信がないというのは、学生に限らず、社会人・大学生も同じ。中学・高校時代にコロナの影響を受けたせいもあると思われる。このようなケースは、個別対応が求められる。専門家の力が必要。大学だと学生相談室などがある。現代は、職場でもコミュニケーションが少ない。様々なことを一人で抱え込む傾向にある。

2) 専門学校

①ホテル学科

古谷氏より、別紙資料に基づき報告がなされた。

- ・高校での進路ガイダンスへの参加、また神港橋高校の「高校生ホテル」プログラムにおいて接触機会を持った効果か、同校からの来校者が増加している。
- ・募集要項を改定し、すべての情報を網羅するようにした。資格一覧を記載し、在学中取得可能な資格を入学前から提示することで取得意識を高める狙いとする。
- ・認知度アップにつなげる狙いで、指定校推薦枠及び指定校を増加した。
- ・オープンキャンパスの内容について、模擬授業の実施や在校生のお手伝いを導入している。
- ・7/20～8/27の期間に於いてアメリカ：フロストバレーYMCAで2年生1名が実習。

以上の報告を受け、以下の質疑がなされ、また意見があげられた。

質問) ブライダル分野が一番人気の分野かどうか。

→ある程度希望者がいる。高校で実施している職業診断テストでブライナーが向いていると結果が出たので、ブライダルを希望した人がオープンキャンパス参加者にいた。

意見) ホテルで仕事をするうえで、飲食の知識は大事である。

質問) 日本語学科の学生の内部入学者数が少ないのは奨学金が少ないためか。

→学校内部の説明会から内部推薦まで少し時間が空くため、留学生はその間他の学校を探し、進学をしていた。今年は、内部へのアプローチを強化していく。

意見) ホテルで働く外国人スタッフは、モチベーションの高い人が多い。

質問) 2025年度4月の目標入学者数、留学生の定員について。

→目標人数は30名。留学生の定員は特に設けてないが、日本人学生を超えないようにしている。

意見) 山口県の専門学校さくら国際学院(萩校)が、神戸YMCAに関心を示してくれているので、資料送付などのコンタクトを勧めた。また、大学と専門学校の出口の違いを明確にしておくことが大切。就職サポート認定を大学が取っている。N2を持っていたら、毎月2万円の奨学金がもらえる。日本語学科が大学と連携しているので、学校説明だけでは学生が来ない可能性が高いため、就職後のライフスタイル、給料も一緒に説明するほうがいい。

意見) 1年生に地方生が多い。ホームページの画像などで学校を選んでいる学生がいる。

意見) 高校生の進路選択が早期化している。以前のような複数の学校をみってから決める、という考え方から、保護者が納得していれば早期に進路決定する傾向がある。

②日本語学科

鐘氏より別紙資料に基づき報告がなされた。

- ・ミャンマーは国の状況が不安定につき、先行き不透明な面がある。10月期生のビザが交付されない可能性もある。
- ・中国の、大学不合格者を取り込みたい。

- ・短期集中コースから全日制の入学につながるケースがある。
- ・マレーシア・シンガポールに向け、Instagram広告を開始。
- ・学生の喫煙が問題になっている。施設内を含め、学校周辺は喫煙が禁止されており、休憩時間等に近所で喫煙する学生がいるため、近隣から苦情が来ている。

3. その他

1) 2024 年度 3 月 全体職員研修について

中道氏より昨年度のメンタルヘルスをテーマとした職員研修の報告と今年度も研修を企画・検討しているとの説明があった。研修内容について委員に広くアイデアを求めたところ、委員より以下のような提案があげられた。

- ・学生向け

SNS（情報リテラシー）、動画編集（※教材として使用する際の著作権）、ハラスメント、薬物、スマホ依存等

- ・教職員向け

スマホ依存症。SNS の危険性。著作権。救命講習。障がいがある方や高齢者の介助や支援。神戸学検定。高等学院にいるような、言葉を話すことができない生徒とのコミュニケーションの取り方。ハラスメント（教員と生徒との距離感）

2) 次回開催日について

2024 年 10 月か 11 月あたり

あらためて再度委員の予定を確認した上で開催日を確定とする。火曜日あたりの出席率が高い。

4. 閉会祈祷

岩野委員による開会祈祷で閉会した。

I. 閉会

以上

記録：横山徹太郎